## 3C-SiC(111) 上に成長したグラフェンのラマン散乱分光による歪み評価 Strain evaluation of graphene grown on 3C-SiC(111) by Raman scattering spectroscopy <sup>O</sup>関根佳明<sup>1</sup>, 熊倉一英<sup>1</sup>, 日比野浩樹<sup>1,2</sup> (1.NTT 物性基礎研, 2. 関西学院大理工)

<sup>O</sup> Yoshiaki Sekine<sup>1</sup>, Kazuhide Kumakura<sup>1</sup>, and Hiroki Hibino<sup>1,2</sup>

(1. NTT Basic Research Labs., and 2. School of Science and Technology, Kwansei Gakuin Univ.)

E-mail: sekine.yoshiaki@lab.ntt.co.jp

SiCは結晶多形の違いにより特徴があるため、異なる結晶多形のSiC 基板に成長したグラフェンも基板の影響を受け、キャリヤ濃度、表面形状、層数分布などが異なる[1-3]。SiC 上グラフェンでは一般的に単層と多層が混在するが、3C-SiC 上グラフェンは、高い単層被覆率の試料作製が容易である[3,4]。このためデバイス応用に適しているが、歪みなどの基礎物性の報告は多くない。今回、3C-SiC(111)上に成長したグラフェンの歪みをラマン散乱分光により評価した。

4H-SiC 成長 基板 と SiC 原料をアニール炉の中で 1660°C、Ar 雰囲気中、5分間加熱し、 4H-SiC (0001) 基板に 3C-SiC (111) を成長した [4]。成長試料のラマン散乱分光の代表的な結果を 図1(a) に示す。4H-SiC ピーク以外に観測されているピークは、3C-SiC の T0、L0 モードと同定 できた [5]。T0 ピーク位置のシフト量から見積もると [6]、本試料の 4H-SiC 上の 3C-SiC は、格 子不整合により圧縮歪みを受けているが、部分緩和していると考えられる。この試料を 1610°C、 Ar 雰囲気中で加熱し、通常の Si 昇華法により、グラフェンを作製した [7]。ラマン散乱分光に よる 3C-SiC 上、および 4H-SiC 上グラフェンの G ピーク位置 ( $\omega_{G}$ ) と 2D ピーク位置 ( $\omega_{2D}$ ) を 図1(b) に示す。各点は同一試料の異なる場所の ( $\omega_{G}, \omega_{2D}$ )である。 $\omega_{G} - \omega_{2D}$ プロットにより、 グラフェンの歪みとドーピング量を評価することができる [8]。歪みもドーピングもない試料で は ( $\omega_{G}^{0}, \omega_{2D}^{0}$ )=(1582, 2669) [cm<sup>-1</sup>] であり、グラフェンに圧縮歪みが印加された場合のピーク位 置の変化は、緑の点線に沿って変化する。3C-SiC 上のグラフェンの圧縮歪みは、4H-SiC 上より も緩和している。これは、4H-SiC 上の 3C-SiC の面内格子定数が、4H-SiC より大きいためである。 このグラフェン圧縮歪みの緩和は、T0 ピークから求めた、4C-SiC 上の 3C-SiC の圧縮歪みの部分 緩和と定量的にも一致した。本結果は、今後のデバイス設計において、SiC 上グラフェンの歪み を考える際の指針となる。



Fig. 1(a) Raman spectra of 3C-SiC(111)/4H-SiC(0001) and 4H-SiC(0001). TO and LO peaks of 3C-SiC are identified. From TO peak shift of 3C-SiC, it is found that compressive strain in 3C-SiC is partially relaxed, which is caused by lattice mismatch between 3C-SiC and 4H-SiC. Both spectra are normalized by peak intensity of 4H-SiC. (b) Plot of graphene G vs 2D peak positions. Green dotted line with arrow shows the direction of compressive strain. Strain of graphene/3C-SiC is relaxed compared with that of graphene/4H-SiC. This strain relaxation of graphene agrees well with partial strain relaxation of 3C-SiC/4H-SiC estimated from 3C-SiC TO peak.

Reference

[1] J. Ristein et al., Phys. Rev. Lett. 108, 246104 (2012). [2] S. Mammadov et al., 2D Mater. 1, 035003 (2014). [3] G. R. Yazdi et al., Carbon 57, 477 (2013). [4] 関根佳明など、応用物 理学会 2016 秋季講演会. [5] S. Nakashima et al., phys. stat. sol. (a) 162, 39 (1997). [6] S. Rohmfeld et al., J. Appl. Phys. 91, 1113 (2002). [7] H. Hibino et al., J. Phys. D 43, 374005 (2010). [8] J. E. Lee et al., Nature Commun. 3, 1024 (2012).